

応募要項

募集部門	1. インドネシア 2. ベトナム 3. タイ
応募規定	● 応募は日本語で書かれた未発表の作品に限ります。 ● 文字数は、1,000 ～ 1,200 字以内（400 字詰め横書き原稿用紙 3 枚）。この文字数が守られていない作品は、選考外とします。 ● 入力・記入はパソコン、手書きどちらでも結構です。原稿用紙の次のページに、参考にした本やホームページのタイトルなどを記入してください。 ● 応募票、応募者一覧表（団体応募のみ）、原稿用紙等は、公式ホームページからダウンロードして使用してください。 ● 応募はひとり 1 部門につき 1 点、複数部門（最大 3 部門）の応募が可能です。 ● 海外留学中の高校生からの応募も受け付けます。
応募方法	個人応募と、団体応募（学校単位での応募）の 2 つの方法があります。 【個人応募】 ● パソコンを使って個人応募フォームから応募する方法と、郵送で応募する方法があります。 【団体応募】（学校単位での応募） ● 応募方法は郵送のみになります。 《郵送先》 公式ホームページから応募書類をダウンロードし、下記宛先までご送付ください。 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-15-11 千代田西井ビル 7 階 株式会社シービーファイン内「第9回高校生 東南アジア小論文コンテスト」係
応募締切	2025 年 9 月 5 日（金） ※郵送応募は当日消印有効、ホームページからの応募は同日 14 時 00 分締切
入賞発表	2025 年 10 月 22 日（水）に公式ホームページで発表します。 表彰式（最優秀賞、優秀賞、入選の各表彰）を 10 月 26 日（日）にオンラインで開催予定です。
注意事項	● 生成 AI（Chat GPT 等）の利用を妨げるものではありませんが、作品はあくまでも応募者のオリジナル作品に限ります。 ● 応募作品は返却いたしません。必要となる場合にはあらかじめコピーをお取りください。 ● 応募は一度とし、再提出は認められません。 ● 審査結果についてのお問い合わせはお受けできません。 ● 必要事項が正しく記入されていない場合は、選考外となります。 ● 応募作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。 ● 賞品は予告なく変更となる場合があります。 ● 受賞者への連絡が取れない場合、入選を取り消す場合があります。

協賛：株式会社千葉銀行

協賛：イオン株式会社



Kanda University of International Studies presents

Southeast Asia Essay Contest

第9回 高校生
「東南アジア小論文コンテスト」



東南アジアの国々についての記事を読み、
あなたの考えを小論文に。

多文化共生社会をめざすうえで、日本と東南アジアの国々は互いに必要不可欠な存在。
文化をはじめ、多様な分野においてつながりのある国の中でも、特に存在感を示す、
インドネシア・ベトナム・タイの 3 か国について、中面の記事を読み、そこから着想
を得たことを 1,000 ～ 1,200 字の小論文にまとめてください。



募集期間

2025年7月7日(月)～9月5日(金)

郵送応募は当日消印有効
ホームページからの応募は同日 14 時 00 分締切

募集内容	インドネシア、ベトナム、タイの 3 部門があります。 中面の記事を読み、1,000 ～ 1,200 字の小論文を作成してください。 詳しくは、裏面の「応募要項」と下記コンテスト公式ホームページを必ずご確認ください。
対象者	全国の高等学校に在学中の生徒（締切日時点） (高等専門学校、中等教育学校、海外の学校等については、日本の高等学校に相当する学年に在学する生徒)
賞品	●最優秀賞 … 1 名：賞状、奨学金 10 万円 (各部門トップの中から 1 点を選出) ●優 秀 賞 … 2 名：賞状、奨学金 5 万円 (各部門トップのうち、最優秀賞以外) ●入 選 … 42 名：賞状、図書カード (1 万円) ●学校奨励賞 … 10 名以上の団体応募を頂いた 学校に賞状、図書カード (1 万円)
応募締切	2025 年 9 月 5 日（金） ※郵送応募は当日消印有効、ホームページからの応募は同日 14 時 00 分締切
お問い合わせ	「高校生 東南アジア小論文コンテスト」事務局 essaycontest@kandagaigo.ac.jp
公式ホームページ	http://www.kandagaigo.ac.jp/essaycontest/

《主催》神田外語大学
《後援》文部科学省、外務省、駐日インドネシア共和国大使館、駐日ベトナム社会主義共和国大使館、在東京タイ王国大使館、
国際機関日本アセアンセンター、一般社団法人共同通信社
《協賛》株式会社千葉銀行、イオン株式会社

※2025 年 6 月 10 日現在

小論文の課題

豊穡な大地に育まれた文化と言葉、そしてエネルギッシュな人々。多文化共生社会へと向かう日本において、文化を含め多様な分野における東南アジア諸国とのつながりを強めることはとても重要です。

本コンテストは、インドネシア、ベトナム、タイの3部門。それぞれにSDGsをテーマにした課題が提供されます。その課題を読んであなたの考え、解決方法を考えてください。



持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

※画像にはAIで生成されたものが含まれています。

インドネシア部門 *Indonesia*

「豊かな自然と共に生きるーインドネシアの環境と私たちの未来ー」



インドネシアは、世界有数の熱帯雨林や多様な生態系を持つ自然豊かな国です。一方で、森林伐採やプラスチックごみの問題、地球温暖化による海面上昇による影響など、地球規模の環境課題にも直面しています。これらの課題は、私たち人類全体の生活にも大きく関係しています。

インドネシアが直面する環境問題について調べ、具体的な例を挙げつつ、日本との共通点や違いを考えながら、持続可能な未来に向けて地球人としての私たちにできることを提案してください。

参考キーワード:

森林破壊／生物多様性／プラスチックごみ／再利用・リサイクル／SDGs目標13(気候変動)・15(陸の豊かさ)



ベトナム部門 *Vietnam*

「みんなが学べる社会をめざしてーベトナムの教育とジェンダー平等ー」



ベトナムでは経済成長とともに教育の機会が広がってきましたが、地域や民族、性別による格差も残されています。特に農村部や少数民族の居住地域では、男子に比べ女子の就学率が低く、中途退学率が高いことが課題です。教育は、ジェンダー平等や貧困の解決にもつながる大切なテーマです。

ベトナムの教育をめぐる現状や取り組みについて調べ、日本の状況と比べながら、すべての子どもが平等に学べる社会づくりについて考えてみましょう。

参考キーワード:

教育格差／ジェンダー平等／農村と都市／民族／貧困／SDGs目標4(質の高い教育)・5(ジェンダー平等)



タイ部門 *Thailand*

「観光って良いことばかりなの？ータイの観光と地域の持続可能性ー」



タイは世界中から多くの観光客が訪れる人気の観光国です。観光は経済を支える大切な産業である一方で、環境破壊やオーバーツーリズム、地元住民間の対立といった問題も生じています。持続可能な観光のあり方は、タイだけでなく世界共通の課題です。

タイの観光と地域の暮らしの関係について調べ、日本の観光地とも比べながら、どうすれば自然環境に優しく、同時に、地元の人たちが広く積極的に参画できる「良い観光」を実現できるか、意見を述べてください。

参考キーワード:

観光公害／地域経済／エコツーリズム／SDGs目標8(働きがいと経済成長)・11(住み続けられるまちづくり)・12(つくる責任つかう責任)